



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

2026年度
受講生募集



QBIC ってなに？
公式サイト

“解”のない時代

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連携型教育プログラム：QBIC (キュービック)

Question-Based Innovation and Career education program for societal transition

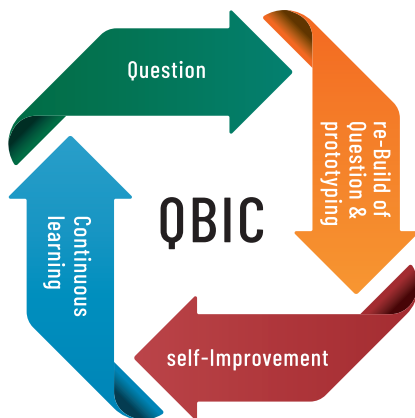




転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム：QBIC（キュービック）
Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



「問いを立てる力」と「学び続ける力」



Q uestion

多様なミカタ／多面的な捉え方による「問い」の創出

re-B uild of Question & prototyping

「問い」の実践によって「解のない」時代への向き合い方を学ぶ取る

self-I mprovement

変化に挑戦する姿勢と自信を身に付ける

C ontinuous learning

転換期の社会に必要な教養力を学びあうことで培う

解のない時代と言われるほど、予測困難であり前例が通用しない転換期を迎えた現代社会。これまでの連続的な成長感を求める思考ではなく、突然訪れる不連続な社会にも対応していくための思考が必要になります。そのためには、何が問題なのかを深く思考するための「問いを立てる力（問題発見／設定力）」と、自身の学びによって不連続性を繋げて行くことを志向した「学び続ける力」が求められます。これらの力を培うためにQBICプログラムでは、「産」と「学」が連繋したリベラルアーツ教育とキャリア教育が融合した2つのプログラムを実践し、リベラルアーツに支えられた思考力と自らのキャリア観にもとづくこれからの時代の教養力を醸成します。

01

Step-up
プログラム

自らの視点で社会の中の問題を
再定義（問題発見）する

問いの創出

自らが生きる未来社会を描きつつ、現代の社会問題に対してチーム内での徹底的な議論を行うことで、多様な視点から「問いを立てる」ことを目標に、これからの時代の教養力を身につけるためのプログラム。良い「問い」は良い「学び」から生まれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学	「キャリアと実践1」 (総合教養科目、キャリアデザイン科目) 配当年次：1～2年次、後期集中
大阪大学	「キャリアデザインと社会実装Ⅰ」 (全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー) 後期集中

02

Jump-up
プログラム

他者との学びあいを中心に
「問い」を社会に対して実践する

問いの実践

事例分析を土台にSDGsなどの社会問題に対する自ら（チーム）のミカタで解像度を上げていくことで、社会において必要とされる「問い」と課題解決策を実践ベースで考え抜くプログラム。良い課題解決策は、良い「問い」から導かれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立大学	「キャリアと実践2」 (総合教養科目、キャリアデザイン科目) 配当年次：2～3年次、前期集中
大阪大学	「キャリアデザインと社会実装Ⅱ」 (全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー) 前期集中
関西大学	「キャリア形成と社会実践」 (共通教養科目 自己形成科目群 チャレンジ科目) 春学期集中



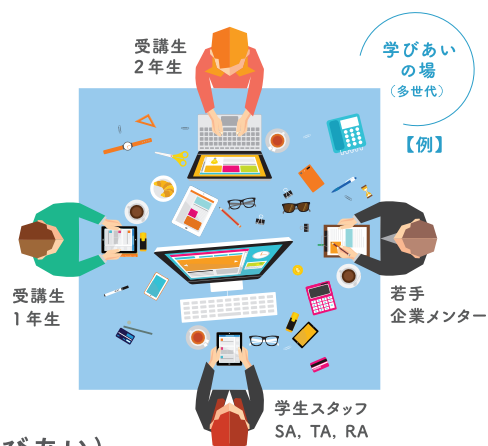
4つの観点から、未来社会に対応するための教養力を醸成していくことを目的に、
「問いを立てる力」「学び続ける力」を育成していきます。



「問いを立てる力」(「問い立て」にむけた教養力の育成)

これからの社会において必要とされる良いソリューションは良い「問い」から導かれることに鑑み、プログラム全体では4つのプロセスを実践することで、これらの社会において必要な力を培います。
この一連の過程を通して、これからの社会において必要となる「問い」を研ぎ澄ましていくことに挑戦します。

- 1 教員や社会人メンターによる支援と分野を超えた学生同士の対話により問題の切り口に対する多様なミカタを獲得する
- 2 キャリア観から導かれる未来のビジョンを描く
- 3 リサーチクエスチョン(仮説)を立てる
- 4 未来社会に向けた「問い」を設定する



「学び続ける力」(共創による学びあい)

産学連繋により、世代や立場が多様なメンバーで構成される学びを実践する場を共創します。受講生、学生スタッフ、教員、社会人など、立場が異なる様々なメンバーが参画することで普段の授業では交わらない他者と切磋琢磨し世代を超えた学び合いから「学び続ける力」を醸成していきます。



QBICプログラムは、多様なメンバーによる学び合いの場を形成(共創)し、各自の成長を重視しながら世代間の学びの循環を目指しています。大学1～2年次生にとって、このプログラムは高校から大学、社会への学びの転換点となり、一貫した学びを通じて「学び続ける力」を育むことを期待しています。また、多様なメンバーが集まり、社会問題に対して多角的な視点から未来を考え、共創の場を形成することも重要な目的です。

QBICプログラム
成果動画



2024年度



2023年度



2026年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繋型教育プログラム:



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

「問いを立てる力」と「学び続ける力」を伸ばす

『キャリアと実践』

失敗すること、
考え直すことの
大切さを学べる場所

終わった後の
達成感が半端ない

この授業を
ひとことで
表現すると！

「問う」という
ことへの入り口

自由と成長

「キャリアと実践」で得た
知識・思考法・経験はこれ
から生きていく上で重要
なものになります！ この
授業に興味を持つ方の他、
何か成し遂げたいと思う
方、何か変わりたいと思う
方、キャリアというものに
触れたい方に是非是非お
勧めします！！

とても大変な期間になると
思います。しかし、この期間は
今まで体験したことのないもの
になり、社会人メンターさん
からの言葉はこれから生きてい
く中でとてもためになります。

先輩受講生からの
おすすめポイント！

自分で作る
ジェットコースター

烏兔匆匆

この授業を受講するにはそれなりの
覚悟がいると思います。どのような
覚悟だとしても、主体的に学んでい
こうとする姿勢がとても大切です。
少しでも迷っているのならば、一歩
踏み出して受講してみてください！
この授業でしか得られない経験がた
くさんあります。

成長したいという意欲
がある人にはもってこ
いの授業です。きっと
最後には「楽しかった！」
と言えるようになります。社会に散らば
っている問題を自ら手にと
って考える力を、こ
こで磨きませんか。

しんどいけど、
きっと成長できる！

超忙しいけど
ハイリターン

最後までやり遂げて
こそこの授業

単位は他の授業でも取れますが、
この授業でしか得られない学び
がたくさんあります。

QBICプログラム 2026年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、大学のシラバス等で確認をしてください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

他者との学びあいを中心に「問い」を社会に対して実践する

01

問いの創出

主な対象：1～2年次

Step-up
プログラム

科目名

キャリアと実践1

第1回目	10月10日(土)	9:30～17:00
第2回目	10月30日(金)	9:30～17:00 <small>授業調整休講日</small>
第3回目	11月14日(土)	9:30～17:00
第4回目	12月12日(土)	9:30～17:00
第5回目	【最終報告会】 2月5日(金)	9:30～17:30
	【振り返り】 2月6日(土)	9:00～12:30

02

問いの実践

主な対象：2～3年次

Jump-up
プログラム

科目名

キャリアと実践2

大阪大学と関西大学との協働開講、合同チームを形成します。

第1回目	4月18日(土)	9:30～17:30
第2回目	4月29日(祝・水)	9:30～17:30
第3回目	5月16日(土)	9:30～17:30
第4回目	6月13日(土)	9:30～17:30
第5回目	7月18日(土)	9:30～17:30

授業アンケートより



Q 授業を受けたことで感じる成長を教えてください！



A チームでの経験を経て、自分には何が得意で何が不得意かがわかった。



A 自分の意見を主張するだけでなく、チームを考えた言動により全体を円滑に回す力が得られた。



A 様々な困難があり、それに対応することを迫られ、乗り越えられた。



Q 授業を終えての満足度は？



A 将来に繋がる知識、考え方、経験が出来、満足している。



A プロジェクトや意思決定などの練習をすることができて良かった。



A 成長には繋がったけど少し大変過ぎた。



Q メンターから学んだことを教えてください！



A 物事を抽象的に一般論として分かりやすく説明する重要性。



A ビジネスで重要にされている考え方や視点。



A まず何を“優先するか”という考え方。



Q 授業全体の感想は？



A 4回目のワークショップが終わったあとの達成感がとてつもなく大きかった。



A 授業の掲げる理想や自発的な行動に任せる授業スタイルが良かった。



A 本当に大変すぎた授業だったが、ただ席に座って講義を受けているだけでは得られないものを頂けたなと感じた。



Q 授業で印象に残っていることは？



A 私たち自身の考えがステレオタイプに囚われていることに気づいたこと。



A 授業に参加した学生の多様性。自分だけだと選ぶことがなかっただろうテーマに取り組む機会を得ることが出来た。



A 様々な視点をもったメンターの方々から指摘をたくさんもらえ刺激になった。



A 普段の授業では決して得られない、質の高い問いを立てること、チームで社会問題について本気で考えるとてもよい機会だった。

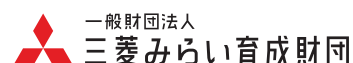


A 自分に何が足りていないとか、何が得意なのかなど、自分自身を知る機会でもあったと感じ、自己成長に繋がった。

※これまでの「キャリアと実践1～問いの創出～」「キャリアと実践2～問いの実践～」(大阪公立大学)の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構／市田（いちだ）h.ichida@omu.ac.jp



本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリ 4助成事業（2023年度採択）の助成を受けて実施しています。

QBICプログラム 2026年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、各大学のシラバス等で確認をしてください。

01 Step-up プログラム	問いの創出		主な対象：1～2 年次
	大阪公立大学	大阪大学	
科目名	キャリアと実践1	キャリアデザインと社会実装 I	
第1回目	10月10日(土) 9:30～17:00	10月3日(土) 9:30～17:30	
第2回目	10月30日(金) 9:30～17:00 <small>授業調整休講日</small>	11月7日(土) 9:30～17:30	
第3回目	11月14日(土) 9:30～17:00	12月5日(土) 9:30～17:30	
第4回目	12月12日(土) 9:30～17:00	2月8日(月) 9:30～17:30	
第5回目	【最終報告会】 2月5日(金) 9:30～17:30		
	【振り返り】 2月6日(土) 9:00～12:30		

02 Jump-up プログラム	問いの実践			主な対象：2～3 年次
	大阪公立大学	大阪大学	関西大学	
科目名	キャリアと実践2	キャリアデザインと社会実装II	キャリア形成と社会実践	
第1回目	4月18日(土) 9:30～17:30	会場：大阪公立大学 森之宮キャンパス		
第2回目	4月29日(祝・水) 9:30～17:30	会場：大阪公立大学 森之宮キャンパス		
第3回目	5月16日(土) 9:30～17:30	会場：関西大学 梅田キャンパス KANDI MeRISE		
第4回目	6月13日(土) 9:30～17:30	会場：大阪公立大学 森之宮キャンパス		
第5回目	7月18日(土) 9:30～17:30	会場：大阪大学 中之島センター		

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 ▶国際基幹教育機構／市田（いちだ）h.ichida@omu.ac.jp
 大阪大学 ▶キャリアセンター／家島（いेशいしま）ieshima@career.osaka-u.ac.jp
 関西大学 ▶社会学部／杉本（すぎもと）h_sgmt@kansai-u.ac.jp

授業アンケートより



Q 授業を受けたことで感じる
成長を教えてください！



A 得意分野を共有して頼り合うことで、苦しい
局面でもチームを前に進ませることができた。
(2025 年度・キャリア形成と社会実践・関西大)



A 「できない」より「やってくれた」に目を向け、
人との向き合い方が変わった。
(2025 年度・キャリアと実践2・大阪公立大)



Q メンターから学んだことを
教えてください！



A 相手の立場や前提から逆算して、伝える
大切さを学んだ。
(2024 年度・キャリアと実践1・大阪公立大)



A 的確なフィードバックで迷いが整理され、
具体的助言が今後の行動指針になった。
(2025 年度・キャリアデザインと社会実装II・阪大)



Q 授業全体の感想は？



A 大変だが自由度が高く、成長と経験が残る。
今後に活かせる学びが多い。
(2025 年度・キャリア形成と社会実践・関西大)



A キャリアと実践1での後悔と学びをキャリア
と実践2で活かし、やり切って楽しめた。
終わって寂しいほど。
(2024 年度・キャリアと実践2・大阪公立大)



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



関西大学
KANSAI UNIVERSITY



エジソン・
マネジメント協会
EDISON MANAGEMENT
ASSOCIATION



一般財団法人
三菱みらい育成財団

本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO 等が行う「21 世紀型教養教育プログラム」カテゴリー 4 助成事業（2023 年度採択）の助成を受けて実施しています。